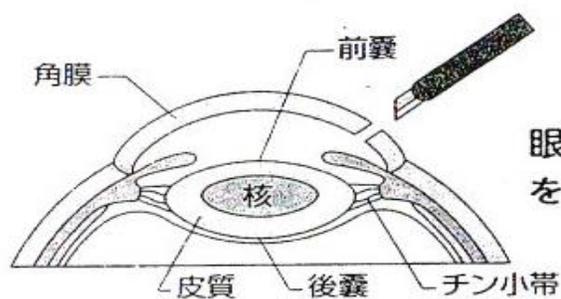


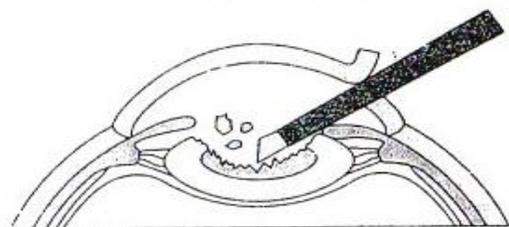
## 白内障の手術

現在、白内障の手術は主に、濁った水晶体を超音波で砕いて取り出し(超音波水晶体乳化吸引術)、人工のレンズ(眼内レンズ)を入れるという方法で行われています。白内障が進行して、核が固くなっている場合は、水晶体の核を丸ごと取り出すこともあります(水晶体囊外摘出術)。

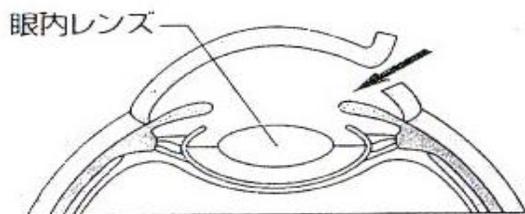
### ●超音波水晶体乳化吸引術



眼球を切開し、水晶体の前囊を切り取る。



水晶体の核と皮質を超音波で砕き、吸引して取り出す。後囊とチン小帯は残す。



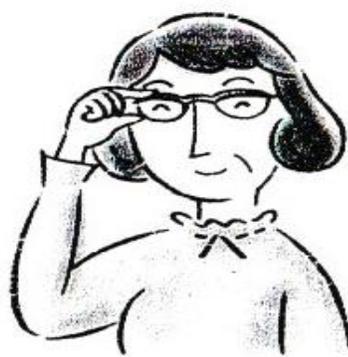
残した後囊の中に、眼内レンズを挿入する。

#### 眼内レンズ

レンズは直径6mm程で、後囊に固定するためにループがついています。眼内レンズをいったん挿入すれば、取り替える必要はありません。



眼内レンズには、ピントを合わせる調節力がないので、眼鏡が必要になります。手術後2週間～2ヵ月頃には、視力が回復し安定してくるので、この時期に自分の視力に合った眼鏡をつくります。



手術は局所麻酔で行われます。手術時間は目の状態により異なりますので、担当医師にお尋ねください。手術を受ける時は医師を信頼し、不安にならずに精神的安定を心掛けましょう。



## 白内障手術後の経過と養生

### ●手術後の注意点

手術直後は、目が充血することがあります。また、目がゴロゴロする、涙がでる、目がかすむなどの症状が出ることもありますが、これらの症状は、数日から1～2週間で治まります。

手術後1～3ヵ月は、手術で起きた炎症を抑え、感染を防ぐために、医師の指示どおりに点眼薬を使用します。

手術の翌日からでも、疲れない程度に目を使ってもかまいません。術後の見え方で、色調の違和感やまぶしさを感じることがあります。色調の違和感は次第に慣れていきますが、まぶしさが続くようであれば、症状を緩和させるために色つきの眼鏡の使用をおすすめします。仕事への復帰は早い時期にできますが、患者さんの全身状態や仕事の種類などによって違ってくるので、医師に相談してください。手術後しばらくの間は、定期検診を受けましょう。



目を押したり、こすったりしない。



転ばない、ぶつけない。

## 術中術後に起こりうる合併症

☆白内障手術は手術の中では最も安全とされていますが、全く危険性がないとはいえません。可能性は低いですが、以下のようなリスクが起こりうることを予め知っておいていただきたいとおもいます。

<術中合併症>

### ○後囊破損 チン小帯断裂

水晶体の袋や水晶体を支える組織が弱くて、手術中に眼内レンズを挿入できないことがあります。後囊破損やチン小帯断裂を生じても、視力予後は良好な場合が多いですが、視力の回復が遅れたり、手術が2度にわたったり、場合によっては病院で再手術を要することもあります。

### ○ショック

キシロカインなどの麻酔でショックがおきることがあります。現在の白内障手術では麻酔の量は微量ですのできわめて可能性は低いですが、万一の場合、直ちに然るべき処置をとり救急医療施設へ搬送する場合があります。

### ○駆逐(くちく)性出血

手術中に眼圧が下がることによる脈絡膜からの出血のことです。超音波白内障手術の導入以前は、駆逐性出血が原因で失明することがありましたが、超音波白内障の導入により頻度は少なくなり、駆逐性出血による失明もほとんどなくなりました。万一発生した場合、一旦手術を中止し、後日続行することになります。

<術後合併症>

### ○一過性眼圧上昇

術翌日にもっともよく起こる合併症で、もともと緑内障である場合にしばしば起こり、緑内障でなくても起こることがあります。眼内レンズを挿入するために使用する薬品の残留や、術後

の炎症が原因の場合が多く、眼圧を調整する処置や飲み薬で対応します。ほとんどの場合翌日にはよくなりますが、確認のため翌日受診していただくことがあります。

### ○眼内炎

手術中や術後の経過中に細菌が眼内に入って感染することをいいます。感染は術後2～3日で発生することが多いようです。感染をおこすと、点滴注射や再手術が必要となり、発見が遅ければ、失明することがあります。頻度は少ないですが、万が一起こった場合には早期の治療が重要となります。

### ○嚢胞様黄斑浮腫

手術の炎症が長く残ると網膜の中心部に炎症の影響が及び視力回復が遅れることがあります。この予防のため、術後には炎症を抑える点眼薬を3ヶ月程度続けていただく必要があります。点眼薬でよくなることが多いですが、しばらく視力の低下をきたします。

### ○水泡性角膜症

角膜の内皮細胞が手術により減少して角膜混濁をおこすことがあります。角膜混濁をおこせば視力低下をきたし角膜移植が必要になることがあります。

### ○後発白内障

水晶体の袋は白内障になっても透明ですが、眼内レンズ挿入術後しばらくして混濁を生じてくることもあり、後発白内障と呼びます。早ければ術後1か月くらいで起こることもあれば、数年してから起こってくることもあります。若い方ほどしばしば起こります。後発白内障による視力低下はヤグレーザーという治療で回復します。一旦ヤグレーザーを行うと、再発はまずありません。